

右ページ上から：亀戸大根、赤大根（紅くるり）
 左ページ上から：イエローベビーキャロット、グリーンカリフラワー
 写真提供／（株）東京野菜カンパニー



都市の農業

農業生産の現場から離れた場所にいると、野菜などの農産物がどんな場所でのようにつくられているか無頓着になっているように思います。

畑の脇に立てられた〈生産緑地〉の看板や農産物販売所が気にかかるようになる。どんな人がどんなものをつくっているのだろうか、興味が湧いてきました。

東京でも、西側にはまだまだ畑がたくさんあります。農地で生産を続けることで、水源涵養や緑地の保全、生態の多様性を守ってくれるのも、都市農業の副次的な役割です。

一方、植物工場や法人化、六次産業化によって、効率的な農業経営が求められ、都市農業の将来は、新しいステージに向かうようにも思えます。

大規模生産地とは違う、都市ならではの農業の有り様を知るために、農業生産の現場を巡ってみました。

水の文化 46号 2014年2月

特集「都市の農業」

都市農業の現在 編集部

都市的農業の時代 甲斐良治

新鮮・高品質が拓く東京野菜の未来 牧野征一郎

江戸東京野菜 江戸東京野菜でまち興し 内田雄二

鈴木農園 家族で六次産業化 鈴木英次郎

小泉牧場 命のバトンを練馬でつなぐ 小泉勝

植物工場の可能性 ハイテク技術の農的活用 古在豊樹

都市と里山・里海をつなぐ NPO法人千葉自然学校 飯田洋

共同経営でかなえた 儲かる農家モデルと循環システム 水落重喜

文化をつくる 都市の農業 編集部

児童文学にみる農業用水開削の偉業 古賀邦雄

シリーズ「わたしの里川」 沖大幹

Go!Go!109水系 里川幻想揺籃 坂本貴啓

145のしずくがつくる旭川 里川文化塾報告

次号予告・編集後記

4 8 12 16 20 22 24 28 32 37 38 40 42 49 51